

総合計画審査特別委員会  
産業建設分科会記録

平成29年12月8日

【開催日】 平成29年12月8日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後1時46分～午後2時32分

【出席委員】

分科会長	中村博行	副分科会長	岡山明
委員	奥良秀	委員	河崎平男
委員	水津治	委員	中岡英二
委員	藤岡修美		

【欠席委員】

なし

【分科会委員外出席議員等】

議長	小野泰	副議長	矢田松夫
----	-----	-----	------

【執行部出席者】

副市長	古川博三	総合政策部長	川地論
企画課長	河口修司	企画課課長補佐	河田圭司
産業振興部長	河合久雄	産業振興部次長 兼農林水産課長	高橋敏明
商工労働課長	白石俊之	観光課長	矢野徹
農林水産課技監	山崎誠司	農林水産課農林 係長	平健太郎
農林水産課水産 係長	和田英樹	建設部長	森一哉
建設部次長兼土 木課長	榎坂昌歳	都市計画課長	河田誠

【事務局出席者】

局 長	中 村 聡	書 記	梅 野 貴 裕
-----	-------	-----	---------

【審査事項】

- 1 議案第81号 第二次山陽小野田市総合計画に係る基本構想及び基本計画の策定について（産業建設分科会所管部分）

---

午後1時46分開会

---

中村博行分科会長 総合計画審査特別委員会産業建設分科会を開催します。先日の分科会の中で委員の皆さんから同意をいただいた修正部分について、執行部と協議をしまして、また、三つの分科会の整合性を図るところから、先日合意をいただきましたが、その部分で修正を指摘する部分について、改めてここで再度合意できるところ、あるいは意見、そういったものをここで調整したいと思います。お手元の資料、先日指摘した部分の内容になりますが、これについて順次合意形成を図っていきたいと思います。最初に基本計画の50ページの指標がタイトルに合っていない。農業部分に限定しているということから、もう一つ指標を付け加えたということについて、自然環境の保全意識の高揚の市民の満足度。当然、アンケートによるという説明を加えて、現状値56.2、前期目標を60.0にする。この根拠は市民一人一人が自然環境に対する意識を高めていくということで、数値的な根拠としては、前回のアンケートの満足度の大変満足、満足、どちらともいえないとか、そういうアンケートを取っておりますが、それを段階的に少しずつ上げていってもらえればトータルで60に近いものになるのではないかとということ。また委員からメールでいただいた中に、あらゆる点で60という数字が及第点であろうということで、このように示していこうと思います。これでよろしいですか。（「いいです」と呼ぶ者あり）それでは一つずつ確認します。次に51ページ。これは前回指摘しましたように指標が分かりづらいということで、改めて保全面積全体ということで前回の分科会

で示したとおり、そのままいくということです。それでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それから52ページ。分科会では現状値と前期目標値が下がっているので説明がないと分かりにくいということで、組織の合併を見込んだというのを入れるようにと示しましたが、今回の総合計画1冊分の中に右側のことについての説明は加えないという一定の決まりを設けているようで、産業建設がここで指摘をすると、ほかの分科会にも影響を与える。その整合性を取りたいということで、これは部会としても省きたいと思いますが、それでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり。）それでは、この説明は省くということになりますと、原案どおりということになります。67ページ、これは明らかな表示のミスがありましたので、これはそのまま「人」を「件」にします。これに異論はないと思いますが、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）73ページ、これも表示のミスがありまして、JRは小野田線だけではないということで、小野田線という文言を市内のJR各駅というように変更したということで、これもよろしいかと思いますが。（「はい」と呼ぶ者あり）74ページ、厚狭駅の利用台数を稼働率に変えた。この数字は台数をそのまま稼働率に変えただけのものでありますので、これはこのほうが分かりやすいだろうということです。これでよろしいですね。（「はい」と呼ぶ者あり）84ページ分以降、説明の中に経済センサスだけの文言になっておりますが、分科会ではこれに経済センサスによる左側の指標の文言を入れるように指摘しましたが、同じ文言はどうでしょうかということで、全て経済センサスで終わっているところは、経済センサスによるという文言に変えるということでよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）85ページ、企業の山口東京理科大の相談件数としています。ここに説明文が必要ではないかということで指摘しました。先日協議した中で、その文言で若干合っていない部分がありました。読み上げます。「技術説明会・研究室公開の実施等による問合せ件数・相談件数」、件数で終われば、ちょうど25件、30件ということで、ちょうどよろしいかと思いますが。そのように変えるということでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）次に86ページ、こ

れも先日分科会でこういう修正をしようというとおります。赤の字で書かれているように稼働率ではなく人数、受講者数ということです。これは再度確認ですが、よろしいですね。（「はい」と呼ぶ者あり） 87 ページ、説明文を空欄にしないというスタンスで進めましたので、こういう文言を入れましたが、この文言がむしろ市民の皆さんに理解できないのではないかとということで、ここの説明はあえて入れないほうが良いという判断から、これを削除しようということにしますが、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり） ということは、変更なし、原案どおりということになります。次に 88 ページ、ここも経済センサスを経済センサスによるに変えたいと思います。94 ページ、ここも経済センサスを経済センサスによるに変えたいと思います。95 ページも同様に経済センサスによるに変え、以下を削除ということでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり） 97 ページ、説明文。これはあるべきだということで、この前修正案を作りましたが、そのとおりにします。98 ページ、説明文につきましては、なくても分かるのではないかとというような指摘もありましたので、削除しようという協議の上でそのようなことにしたいと思います。削除でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり） 98 ページの飼養経営体数。これはそのまま指摘どおり修正したいと思います。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり） 次に 102 ページ、これも説明文があったほうがより親切だということで、このままのとおりでいきます。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり） 次 104 ページ、これも原案の 19 校という数字ではおかしい、センターになるということで、これはこの方がよいという判断を皆さんもされましたので、これでいきたいと思います。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり） 最後に 107 ページ、おもてなしサポーターの説明。これは用語解説にあるのですが、あえてこういう説明を入れたほうが分かりやすいのではないかとということもありました。ここも用語解説を詳しく書くということで、できるだけ内容についてはそれで済ませてもらおうということにしようと思います。したがってここは削除することにより、原案どおりいくということでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり） 以上、先

日の分科会を受けて、執行部と協議をした結果、しっかり指摘するところは指摘する。修正するところは修正するというスタンスで、聞くところによると、総務、民福、そういった分科会の指摘数より圧倒的に多いということです。事情は違いますが、そういうことで委員会の審査が十分できたのではないかと思いますので、執行部を含めた分科会の中でこの修正案を提示するというにしたいと思います。よろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）それでは一旦分科会を休憩に入ります。それでは暫時休憩。開始時間は2時10分からにします。

---

午後2時休憩

---

---

午後2時10分再開

---

中村博行委員長 引き続き総合計画審査特別委員会産業建設分科会を開催いたします。今からは執行部へ修正案といえますか、修正した内容をお示ししますので、随時ページを追って、修正した部分について指摘をさせていただくということで始めたいと思います。よろしくお願ひします。最初に基本計画の50ページの目標指標につきまして、分科会ではこの指標が自然環境の保全という施策のタイトルに、これは農業関係だけしか示しておられないので、タイトルに合ったものを一項目入れさせていただくということで、第一次の総合計画にありました指標、指標の名前ですが、「自然環境の保全意識の高揚の満足度」とさせていただきまして、その説明として「総合計画策定に係る市民アンケートの満足度」。この現状値につきましては、執行部よりいただいた数字ではあるのですが、「56.2点」。これの前期目標値としまして、アンケートをとられた際に、大変満足、満足、どちらともいえない、不満、大変不満、分からない、無回答。こういった項目がありましたが、各それぞれにランクアップしていただこう。市民の意識を高めるといっても含めて少しずつアップしていただき、数字的に、いずれにしても60点というのが及第

点であろうという、そういう目標に向かってやっていただきたいという思いから、前期目標値は「60.0点」としました。続きまして51ページ分です。ここの指標につきましても、現状値と目標値で目標値のほうが高いということもありまして、説明を求めましたところ、非常に分かりにくい説明でありました。結局、対象が30ヘクタール。そのうち28年度に7.1ヘクタールをやった。33年には5.5ヘクタールということで、委員の中にもこれはプラス5.5ヘクタールというような感覚を持ちますので、そうではなくて、対象面積全部をやるということから、ここのところ説明を加えさせていただいたということです。指標から読み上げますと、「菩提寺山市民の森の管理・保全面積」。説明が「菩提寺山市民の森の全体面積」。現状値、総面積ですが「30ha」。前期目標値も「30ha」ということにしました。下段のほうも同様な考え方で、「地域づくり活動に意欲のある集落周辺の里山林の整備地区数」ということで、説明も、「集落協定に基づき整備する地区数」。これは対象が平沼田地区という、1地区ということでしたので、これも面積から地区数ということで、現状値が「1地区」、前期目標値が「1地区」というようにさせていただきます。67ページ(2)緑化推進の保全で評価指標のところの現状値の単位が「人」となっていますが、これは明らかなミスであろうということで、「人」を「件」に修正します。続きまして73ページ。ここにつきましても(2)持続可能な地域公共交通網の形成の評価指標の中で、下段の部分にありますJR小野田線というように小野田線が入っておりますが、全体を含めたJRということで、これも指標を「JR利用者数」。説明を「市内JR各駅の利用者数」と改めさせていただきますと思います。次に74ページの駐車場・駐輪場の整備につきまして、ここの指標でございますが、原案は利用台数となっておりますが、これでは稼働状況が分からないということもありまして、稼働率に変更させていただきますということで、指標が「厚狭駅南口駐車場の稼働率」。説明に数式を入れます。「日平均利用台数÷駐車枠数(190台)×100」ということで、稼働率を示したものです。そして数字は台数となっておりますところを、対象の台数を分母に持って

きまして現状値が「52.1%」になります。そして前期目標値が3万8,000台を割合に換算しますと「55.0%」というように修正したいと思います。続きまして84ページの目標指標の中で説明の欄に経済センサスとあります。この項目以降、経済センサスの説明のところに経済センサスのみ明記してありますが、そこをもう少し親切にということで、経済センサスによるというように「による」という文言を付け加えていただきますということです。以降また出てきますが、経済センサスだけで説明が終わっていますが、「経済センサスによる」というようにしたいと思います。次に85ページの(1)産官学連携の評価指標、ここが企業の山口東京理科大学への技術相談件数の説明が空欄になっていますが、もっと親切にということで、説明文を「技術説明会・研究室公開の実施等による問合せ件数・相談件数」というように説明文を入れたいと分科会で決まりました。次に86ページ(3)職業能力の評価指標ですが、雇用能力開発支援センターの年間稼働率98%が100%。非常に分かりにくいという指標でしたので、これを改めまして、指標を「雇用能力開発支援センターの年間利用者数」という指標にしたい。当然説明文が「雇用能力開発支援センターで実施されている職業能力講習等の年間受講者数」という説明文を入れるということです。この現状値はいただいた数字ですが、「14,768人」。これにつきましては、5年間で僅かでも伸ばしていきたいということで、1年で1.5%程度の伸びを期待すれば、丸めた数字ではありますが「15,000人」という前期目標値にしたいということでもあります。それから88ページの目標指標ですが、これも同様に経済センサスで終わっていますところを「経済センサスによる」に付け加えていただくということにします。94ページも同様に目標指標の説明が経済センサスとなっているところを「経済センサスによる」に付け加えていきたいということです。同様に95ページの評価指標の上段の部分です。これも説明が経済センサスで終わっていますので、「経済センサスによる」に付け加えるということです。それから97ページの(2)の評価指標の中に説明文がありませんでしたので、より親切な書き方ということで、説明のところに「後潟

上地区及び王喜（埴生）地区」の文言で説明とするということです。それから98ページ（4）の評価指標、予防接種実施頭数とありますが、対象1頭のものが複数回接種という延べの数字があつて、実数がかみづらいということがあり、指標そのものを「飼養経営体数」の指標にするということで、現在この経営体が、これも数字はいただいたものですが、「5戸」とありますものを現状維持、減らさないということから前期目標値も「5戸」にしたいと思います。102ページの目標指標の上段の部分です。漁業経営体数、ここに説明を加えたいということで、説明が「4漁協（小野田、高泊、厚狭、埴生）の経営体数」というように具体的な漁協名を入れたということで、市民が分かりやすいということを中心としております。そのように修正をしますということです。次に104ページ魚食普及の推進につきまして、原案が現状値、目標値ともに年19校となっております。33年には給食センターが稼動しておりますので19校はふさわしくないということで、回数ということにしましたので、指標から読み上げます。指標から「市内小中学校の給食材料に山口県産の魚を利用した回数」とします。その説明として「山口県水産物消費拡大運動推進協議会を通じて魚を利用した回数」という説明を入れまして、現状値「1回／年」、前期目標値も「1回／年」という修正にしたいと思います。修正部分につきましては以上です。これについて執行部の指摘、あるいはこちらが示した数字で、ふさわしくない数字であるといったような意見等があるかと思いますが、執行部からこれについて意見を求めたいと思います。部長代表で産業振興部。

河合産業振興部長 特にございません。

中村博行分科会長 よろしいですか。そのようにさせていただきたいと思いません。建設部。

森建設部長 建設部も問題ありません。

中村博行分科会長　ほかはないですね。では、こういう形で産業建設分科会としてはそういう指摘、修正をしたいと思います。正式には委員会でこれが諮られることになろうかと思いますが、そのようにしたいと思います。委員の皆さんから自由討議的なものも考えられていると思いますが、それは委員会のほうでお願いしたいと思います。それでは以上で産業建設分科会を終了したいと思います。

古川副市長　10月の臨時会にて上程させていただきました、産業建設分科会では11月から本日まで、いろいろ慎重審議をいただき、誠にありがとうございます。私どもの足りなかつたところ、またこちらのほうがいいのではないかという御指摘もいただきました。委員会で最終的に決まりましたら、肅々とこれを総合計画にうたい込み、来年の4月からはこれに基づいて業務を進めて行こうと思いますので、よろしく申し上げます。どうもありがとうございました。

中村博行分科会長　御丁寧にありがとうございました。以上で総合計画審査特別委員会産業建設分科会を終了いたします。

---

午後2時32分散会

---

平成29年12月8日

総合計画審査特別委員会産業建設分科会長　中　村　博　行